

2024年までにCO₂排出量 **30%** 削減(1990年比) を目指します!



エコが千代田の自慢です!

エコチヨ



「都会でわくわく生物多様性のまなびとこうさく」

千代田のエコを推進しよう!



Vol.5

2017 春号



「エコ&サイクルフェア/千代田のエコ自慢」



「日比谷公園の“メジロ”」

《特集》

「御仕事“恵呼化”見本帖」学生取材の裏側



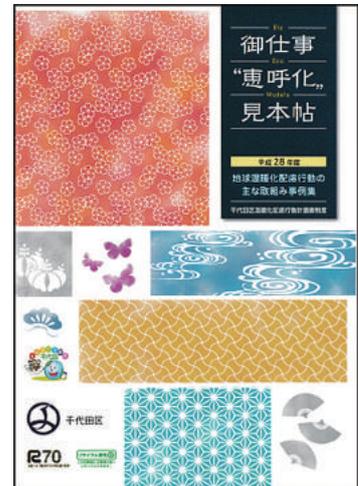
平成28年度「御仕事“恵呼化”見本帖」学生取材の裏側



(一社)千代田エコシステム推進協議会では、昨年に引き続き、千代田区発行の「御仕事“恵呼化”見本帖」地球温暖化配慮行動の主な取組み事例集(以下、「事例集」と略)の冊子づくりに携わりました。

今年、当協議会では、「学生が実際に取材した『この取組みがすごい!』」企画の企業取材をする大学生のサポートにあたりましたので、その様子をレポートしたいと思います。

これは、千代田区内に事業所がある企業が取り組んでいる環境配慮行動が、どのような趣旨で行われているのか、学生が直接、企業訪問して取材し、それらをまとめたレポートを事例集に掲載することで、様々な取組みを広く知っていただく機会とするものです。



①企業取材へ行く学生の募集

千代田区内にある大学との「区内大学と千代田区の環境連携会議」を通じて、企業取材に参加したい学生を募集したところ、合計10名(上智大学4名、明治大学3名、大妻女子大学2名、法政大学1名)が参加してくれました。



<参加してくれた大学生の皆さん>

②取材先を選ぶ

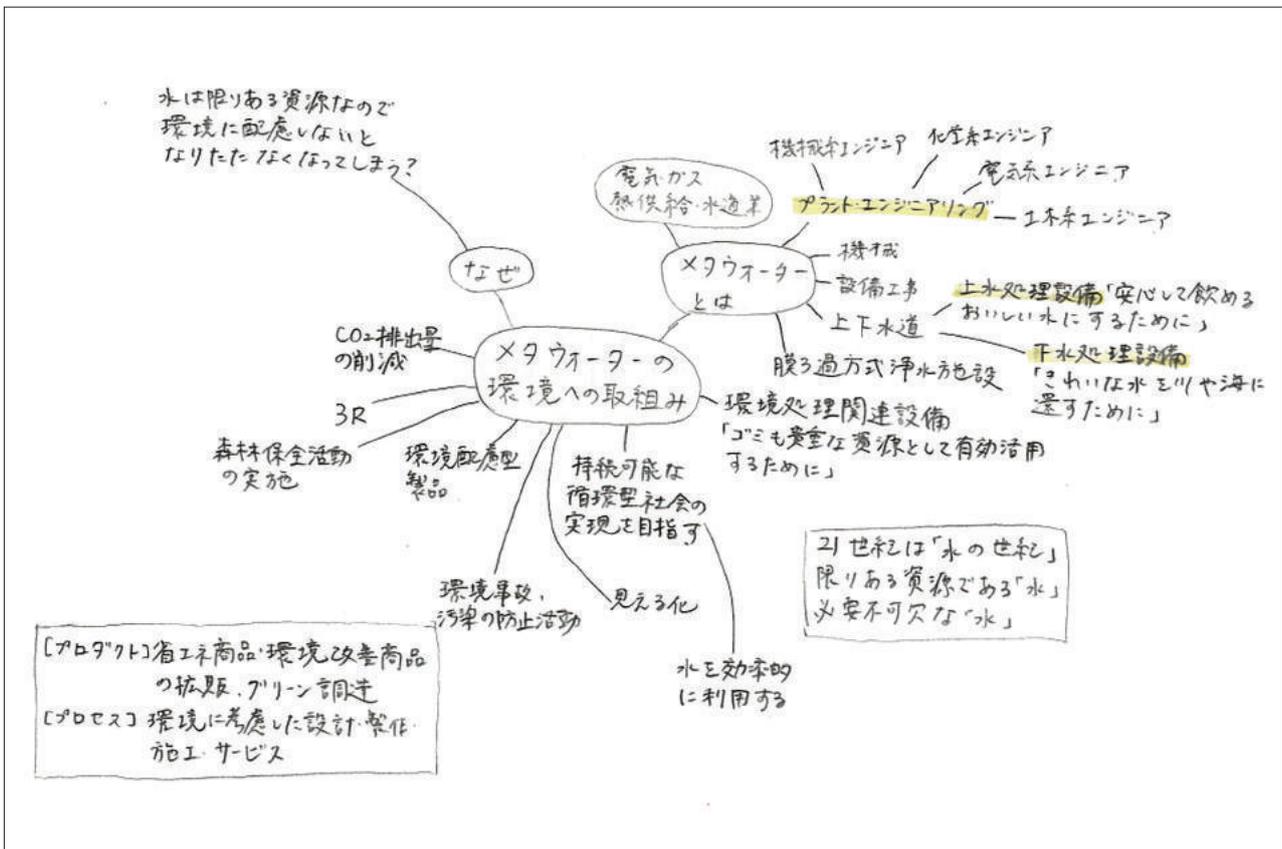
千代田区の「温暖化配慮行動計画書兼報告書(以下、「報告書」と略)」に答えた、取材受入れ可能な企業の中から、それぞれの企業の主な取扱い商品、シェア、顧客の属性(個人なのか法人なのか)などを説明し、その上で報告書に書かれた環境配慮の取組みを読み、興味があった企業を取材先として選んでもらいました。

③取材前の準備

1社あたり、学生2～3人に担当分けし、まず、取材先のホームページなどで、取材先の取扱い商品やサービス内容について調べてもらい、「この企業はどのように環境配慮行動に熱心なのか？」を考えてもらいました。



得られた情報を整理して分析シートに書き出した上で、区への報告書の回答を読み、「この会社が最も力を入れている環境配慮行動は何だろう？」「それによって、どういう効果が得られるのだろう？」と考えていくことで、取材時に質問したいことが自然とみえてきたようです。



※取材前に、学生の書いた分析シート。これを元に質問を考えていきます。

④取材当日

当日、学生は緊張していましたが、企業側は「わが社の環境配慮行動を聞きに、わざわざ学生が来てくれた！」と歓迎してくださったので、落ち着いてお話を聞くことができました。

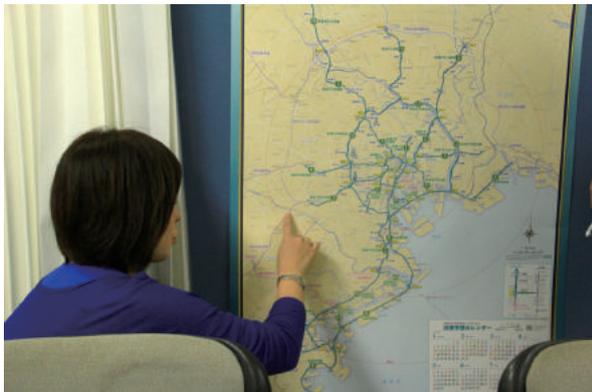
まず、企業側から、業務の内容について簡単にご紹介いただいた後、「特に力を入れている環境配慮行動」や「今後力を入れていく環境配慮行動」について説明を受け、学生からの質問にも答えていただきました。話がもりあがり、1時間を超えることもしばしばありました。



スクリーンを使って、業務内容やCSRの取組みについてご説明いただいた企業



タブレットを使って、事例などをご説明いただいた企業



地図を使って、取り組んでいる場所などを教えていただいた企業



実際に緑化された屋上を見学させていただいた企業

⑤レポート作成

取材が終わったら、記憶が薄れない内に、取材時に印象深かったことを中心に、トピックを2～3つに絞り、レポートをまとめていきます。書きたいことが多すぎて、250文字前後におさめるのに苦戦する学生もいました。

また、せっかく実際に足を運んで話を聞いたのですから、ただ情報を並べるのではなく、環境に対する企業の取り組みや熱意を知って、「私がどう感じたか？」という視点も入れてもらうようお願いしました。

<まとめ>

当協議会でも、この学生取材のサポートを通して、初めて知る環境に良い商品や、その企業や業界ならではの環境への取り組み、学生ならではの視点など学ぶことが多く、とても良い機会になりました。

このようにして完成した『事例集』の学生取材ページ。区役所本館、区立図書館や出張所などの区関連施設に配置しておりますので、是非、学生たちのレポートと、編集後記も併せてご一読下さい。

(一社) 千代田エコシステム推進協議会 活動紹介

●エコ&サイクルフェア/千代田のエコ自慢 (2016年11月19日(土))

リユースなどの取り組みや、環境に優しい乗り物を身近に感じ・学べるイベントを、千代田区と当協議会と一緒に開催しました。



CES 子供服の交換会



CES エコブローチ作り



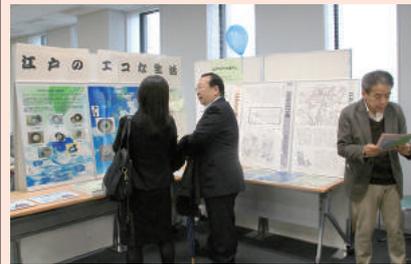
カトー折り



間伐材を使った「写真立て作り」
大妻女子大学ライフデザイン学科
環境教育ゼミナール



和グルミを使った「エコな万華鏡作り」
大妻女子大学
食育ボランティアグループ「ぴーち」



「江戸のエコな暮らし」
東京家政学院大学



「アクリルエコたわし作り」
ひつじの会



「地中熱利用は地球にやさしいエネルギー利用」
NPO 法人地中熱利用促進協会



「リメイク作品の展示」
共立女子大学共立クリエイティブ・クラブ



「環境学習の活動の内容」
NPO 法人エコスクール推進協議会



「エコかるた」
グリーンネイバーフッド千代田を目指す会



「おもちゃびょういん」
番町おもちゃ病院

「環境配慮宣言～千代田のエコ自慢」とは

個人事業主の方が気軽に取り組みやすい環境配慮活動です。事業に関係した身近なエコ活動を「宣言」し、実行していただきます。お店で「千代田のエコ自慢」、はじめませんか？

メリット

1. 環境配慮活動を通して、事業所の経費削減につながります。
2. 「千代田のエコ自慢ステッカー」で、千代田区のエコな事業所としてお客様にPRできます。
3. 「千代田区商工融資あっせん制度」優遇措置の対象となり、低利融資が受けられます。

都会でわくわく 生物多様性のまなびとこうさく



2016 12/3 (土) 2017 2/11 (土・祝)

平成28年度は、「子どもゆめ基金」の助成を受け、『都会でわくわく生物多様性のまなびとこうさく』と題し、区内在住の親子を対象に、日比谷公園での動植物の観察と、落葉などを使って工作に取り組んでいただくイベントを開催しました。

区内小学校へチラシを配付したところ、想定以上のお申込みをいただきました。来年度は、もう少し多くの方がご参加いただけるよう開催日数を増やす方向で考えております。

◆2016年12月3日(土)のようす



この日は、子ども13名、保護者10名の参加がありました。心地池付近で鳥や生きものを観察したり、木の下に落ちている様々な実や葉を拾い、観察しました。

その後、美しく色づいた落葉を使ってサンキャッチャーづくりをしてもらいました。サンキャッチャーは、陽の入る窓辺に飾ると、とても綺麗です。サンキャッチャーが完成したお子さんの中には、枝えんぴつづくりにも挑戦する子もいました。

日比谷公園で観察したものをおしゃべりしながら、子ども達も楽しそうに製作していました。

◆2017年2月11日(土・建国記念の日)のようす



この日は、子ども9名、保護者8名の参加がありました。まずは、肉眼での鳥を観察し、次に双眼鏡を使って観察したり、動植物の冬の様子を観察しました。

工作では、集めた落葉を貼った台紙の上に、カラーラッピングペーパーをのせ、色鉛筆でなぞりました。その後、木の枝を組み合わせ、麻ひもでしばって、写真立てが完成！枝えんぴつ作りにも挑戦しました。

● CES 環境講座 2016年10月26日(水)～11月26日(土)

千代田区にかかわる一人ひとりを対象に、地球環境問題や地域の環境問題について学ぶ講座です。職場や学校、自宅などで、環境負荷の小さい生活スタイルを実践し、周囲へ働きかけができる人材の育成を目的としています。

平成28年度は、10月から11月にかけて、4回の講座と「気象庁」、「丸の内3×3Lab Future」への見学会を含む、「環境講座」を開催致しました。

◆テーマ： 地球規模～日本～千代田区からみた地球温暖化、では私はどんな対策をしますか？



ワークショップのようす



気象庁見学のようす

<参加者の感想>

- 地球温暖化について正確な知識を教えていただき、大変勉強になりました。
- 気候変動と生物多様性について、今まであいまいだった知識が、講義を受けて整理できました。MY行動宣言することで、意識を強くもって環境に配慮した取り組みができるようにしていきたい。
- 気象庁では、普段テレビで見る情報の源を出す職員の様子を見られて良かった。また、丸の内3×3Lab Futureでは、最先端のオフィスや集いの場づくりの見学ができ、大変印象深かった。

●法人化記念 CES 交流会



平成28年4月に法人化したことを記念し、会員各位の他、この1年各種イベント等でお世話になった方々もお招きして、12月8日にCES交流会を開催致しました。

1/26 (木) ちよだ生物多様性大賞の 表彰式をおこないました

千代田区では、優れた生きものの保全活動等を表彰することで、活動する意欲を高め、活動を広げていくことを目的とする千代田区独自の制度として「ちよだ生物多様性大賞」を今年度創設しました。初年度となる今回は、事業者2件、個人の方2件、団体1件の合計5件を表彰しました。



区長と選定委員会の亀山委員長を囲んで受賞者のみなさん



寿命になった千代田区の
桜材で作ったトロフィー

【最優秀賞】

生物多様性に配慮する都市の緑化取組み (三井住友海上火災保険株式会社)

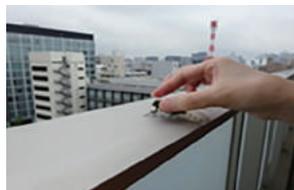
「生きものと、町の共存」をコンセプトに、32年前の本館改修や、その後の新館建替の際に、生物多様性に配慮した緑地を創出しました。「緑の量を増やす」だけでなく在来種の植栽を行うなど「緑の質の向上」にも取り組んでいます。本館の屋上庭園は解放し、様々な団体等と連携しながら取組みを進めています。



身近な生きものの保護・観察

(区内在住の篠田さん)

セミや昆虫が人や車にひかれそうになったり、家の中などに迷い込んで脱出できない場面に出会ったら、それを助け、観察し、必要時は自宅に保護しています。



千代田学による生物多様性の普及

(明治大学農学部応用植物生態学研究室)

鳴く虫や、鳥が運ぶ種子から育っている樹木の調査を通じて、一般の人でもできる生物多様性の簡単な調査方法をつくりました。今年度は、その方法を広めています。



「大手町の森」－都心における自然の森づくり－
（東京建物株式会社、大成建設株式会社）

ビジネスの中心地大手町で、地域性を踏まえた在来種を植栽し、これまでの公園と一線を画した、約3,600㎡の「自然の森」を創出しました。生きもののモニタリング調査も行っています。



生きものさがしへの参加

（区内在住の小林さん）

主に皇居周辺で生きものを観察し、千代田区が実施している「生きものさがし」に300種以上を報告しています。あまり自然を感じない神保町付近でも、チョウやトンボが見つかっています。



<千代田区生きものさがしとは>

区内の身近な自然に触れ生きものを探すことで、自然や生きものへの関心を高めるために2014年から実施しています。区は、報告された生きもの情報をまとめ、公表しています。

【対象の生きもの】（全8種）



【見つけた生きものランキング（2016年）】

順位	見つけた生きもの	2014年	2015年	2016年
1	セミのなかま	—	206	344
2	トンボのなかま	34	155	270
3	アゲハチョウのなかま	84	147	202
4	モンシロチョウのなかま	41	88	148
5	カエルのなかま	10	68	68
6	スズキ	26	50	51
7	サギのなかま	16	19	37
8	トカゲのなかま	19	42	30

今年はセミのなかまが最も多く発見されました。ビルが多い千代田区ですが、意外と多くの生きものがいるのがわかります。皆さんもぜひ、探してみてください。

結果の詳細はホームページをご覧ください。



【平成29年度実施スケジュール】

生きものさがし

調査期間：平成29年6月1日～10月31日

対象：どなたでも

参加：生きものさがし2017ガイド内のハガキ
メール、区ホームページなど

発表：平成30年1月（予定）

ちよだ生物多様性大賞

募集期間：平成29年6月1日～9月30日

対象：区内で生物多様性の保全等の活動をしている個人、団体、事業者など

応募：メール、郵送など

発表：平成30年1月（予定）

みなさんの参加・応募をお待ちしています!!

■ 1/26 (木) に温暖化配慮行動計画書制度表彰式を開催しました。

温暖化配慮行動計画書制度とは、区内事業所が取り組む「環境活動」「環境教育」「地域貢献」などの温暖化配慮行動について、その実施状況や計画を毎年、区へ報告していただくものです。

区は、提出された 247 事業所の中から優良な温暖化配慮行動に取り組んでいる区内事業所 10 社を表彰しました。

(最優秀賞) 富士ソフト株式会社

- ◎独自の環境マネジメントシステム「FSI eco ガイドライン」の導入により PDCA サイクルを確立
- ◎環境啓発ポスター（外国籍社員向けの英語版ポスター）の掲示



(優秀賞) 日本製紙株式会社

- ◎紙パックリサイクルキャンペーンの実施
リサイクルマークの付いた紙パック 20 枚とボックスティッシュ 2 箱を交換、2 か月間で約 16,300 枚の紙パックを社内から回収。

(環境配慮賞) 株式会社日清製粉グループ本社

- ◎環境月間期間中、社員食堂前で、企業活動に関連した環境展示を企画し、2015 年度は「小麦と生物多様性」をテーマに取り上げた。



(特別賞)

- 旭硝子株式会社 日常生活を通じた環境負荷削減や環境活動の推進
- 川崎汽船株式会社 「“K” Line Group 環境アワード表彰」の実施
- KDDI 株式会社 日比谷公園で「子ども向け環境教育イベント」の実施
- 新日鐵住金株式会社 厚生労働省が推進する「夏の生活スタイル変革」に対応
- 株式会社帝国ホテル アルミ缶分別回収による日比谷公園内花壇管理
- 日本大学病院 電気・ガス・水道熱源節約プロジェクト (写真①参照)
- 三菱地所株式会社 丸の内エコ弁プロジェクト (写真②参照)



▼受賞された事業所の皆様が区長を囲み記念撮影



～特別賞の取組み一部紹介～

▼写真①



▼写真②



病院内各所に掲示された省エネポスター

表面にフィルム加工 P&P リ・リパック容器

2017年度上半期 イベントカレンダー



5月 **みどりとふれあうフェスティバル**
 5月13日(土) 11時～17時
 5月14日(日) 10時～16時
 場所：日比谷公園

ツリークライミングや日比谷公園の森を散策する親子で楽しい「体験プログラム」、森の恵みを「食べて楽しむプログラム」、森のことを楽しく学べる「ステージプログラム」など幅広く体験できるイベントです。千代田区もブースを出展します。
 詳しくは、みどりの感謝祭ホームページ (<http://midorinokanshasai.com/>) をご覧ください。

5月 **緑化推進事業**
 5月24日(水)～6月1日(木)
 夏の節電対策やヒートアイランド対策の一環として、区内の緑化を推進するため、区民の皆さまや事業者にごやとハーブの苗を差し上げます。

日にち	時間	場所
5月24日(水)	10時～12時	麴町出張所
5月25日(木)		和泉橋出張所
5月26日(金)		神田公園出張所
5月27日(土)	10時～15時	区民ホール
5月29日(月)	10時～12時	神保町出張所
5月30日(火)		富士見出張所
5月31日(水)		万世橋出張所
6月1日(木)		区民ホール

7月 **セミ羽化観察会**
 第1回 7月24日(月)
 第2回 8月3日(木)

日比谷公園で小学生向けにセミの羽化観察会を開催します。ミニ講義と観察会で、都心にもさまざまなセミがいることを体験できます。



5月 **ちよだ・つま恋の森づくり植樹ツアー**
 5月20日(土)～21日(日)
 (1泊2日)

区と姉妹都市提携を結んでいる群馬県嬭恋村を訪れ、地元の皆さんと一緒にミズナラの苗木を植樹します。森づくりに参加して森の役割や大切さを学び、自然観察と散策を行います。
 ※CES協働事業



6月 **ちよだ環境まつり**
 6月1日(木) 10時～15時
 場所：区民ホールほか

6月の「環境月間」に合わせて、省エネやリサイクルなど、環境の大切さをより多くの方に知ってもらうため、子どもから大人まで楽しめる参加体験型イベントを開催します。工作教室や展示コーナー、再生家具の無料抽選会、包丁とぎ等盛りだくさんの内容です。
 ※CES協働事業



6月 **環境月間講演会**
 6月1日(木) 15時～17時
 集合場所：4階会議室

樹木医の石井誠治先生と銀座ミツバチプロジェクトの田中淳夫さんを講師にむかえます。



8月 **区内一斉打ち水**
 8月1日(火) 16時30分～
 (雨天順延)

8月は「打ち水月間」です。打ち水は、日本の暮らしの知恵として古くから行われ、今でも手軽に涼しさが体感できる方法として、広く知られています。8月1日は、区民・事業者の皆さんの協力を得て、区内で一斉に打ち水を実施します。打ち水用具の貸出しも行います。



(一社)千代田エコシステム推進協議会では 会員募集中! です!

■年会費

対象/会員種別	正会員	賛助会員
教育機関	60,000円	30,000円
企業(資本金1億円以上)	60,000円	30,000円
企業(資本金1億円未満)	20,000円	10,000円
上記以外の団体	10,000円	5,000円
個人	2,000円	1,000円



登録会員も募集中!

- ☆登録費用は無料!
- ☆エコに関するイベント情報やメルマガを配信します! エコ活動をこれから始めてみたい方もお気軽にどうぞ。

*入会方法など詳細につきましては、(一社)千代田エコシステム推進協議会までお問い合わせください。

■会員企業・教育機関・団体(2017年3月現在、敬称略・順不同)

- (企業) 三菱地所株式会社、株式会社大塚商会、東京電力パワーグリッド株式会社 銀座支社
東京ガス株式会社 中央支店、東洋美術印刷株式会社、サンタックス株式会社
株式会社東畑建築事務所、前田建設工業株式会社、株式会社小学館集英社プロダクション
- (教育機関) 学校法人日本歯科大学、学校法人法政大学、学校法人専修大学、学校法人明治大学
学校法人大妻学院、学校法人二松學舎、学校法人東京家政学院
- (団体) 東京商工会議所千代田支部、千代田区商店街連合会、千代田区連合町会長協議会
公益財団法人まちみらい千代田、NPOエコスクール推進協議会、2×3スリーレック
千代田区商店街振興組合連合会、神田駅西口商店街振興組合、エコピーブル支援協議会、千代田区

以上

■千代田エコシステム クラスⅢ(監査・認証)を導入しませんか?

●制度の概要

企業・団体・教育機関などの事業所向けに、千代田区が独自に構築した環境マネジメントシステム(EMS)がCESクラスⅢです。ISO14001がベースの簡易版EMSで、中小企業でも取り組みやすい内容になっています。

●適用

監査	監査料(年1回)	40,000円~180,000円(監査対象のサイト数と所属人員数により、御見積いたします。) ※監査に「不適合」の場合、再監査が必要となり、その場合は1回毎に上記監査料がかかります。
指導助言	導入時基本料金	60,000円(180分×3コマ)
	任意オプション	20,000円/回(180分)

~『エコチヨ』へのご意見、ご感想はこちらまでお寄せください~

千代田区環境まちづくり部環境政策課

住所:〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1
千代田区役所5階
電話: 03-5211-4255(企画調査係)
FAX: 03-3264-8956
メール: kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp



(一社)千代田エコシステム推進協議会

住所:〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1
千代田区役所5階
電話: 03-5211-5085
FAX: 03-3221-3405
メール: info@chiyoda-ces.jp



発行・編集: 千代田区 環境まちづくり部 環境政策課 / (一社)千代田エコシステム推進協議会
ロゴデザイン: 御茶の水美術専門学校 河内彩子 様
発行日: 2017年4月1日

※本誌に掲載された情報は2017年4月時点のものです。掲載された記事・写真・地図・イラスト等の無断転載・複製を禁じます。

エコチヨは環境に配慮したインクを使用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用